

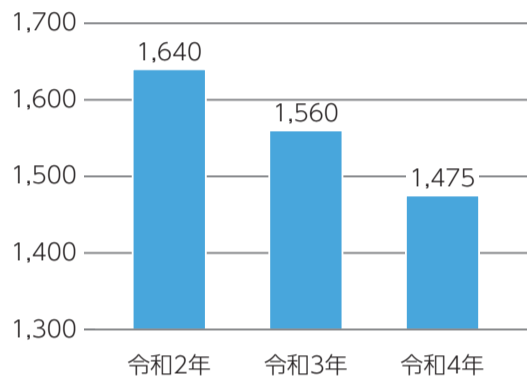
犯罪を「しない」「させない」

問 暮らしの安全課 (内線2824)

防犯の輪を広げましょう

春日部市では、市民の皆さんの防犯に対する高い意識や防犯ボランティア活動などにより、昨年警察で認知する刑法犯認知件数が減少しました。

〔市内刑法犯認知件数〕



引き続き、生活上のルールを守り、ご近所付き合いを大切にしながら、地域ぐるみで防犯の輪を広げ、犯罪を「しない」「させない」環境を育んでいきましょう。

犯罪をしない

巻き込まれない

軽い気持ちであっても、ごみのポイ捨てや人の物を盗むなどの行為は、ゲートウェイ犯罪(重大な犯罪への入り口)と呼ばれています。

こうした行為が、見逃され継続することで、次第に規範意識が低下し、後に重大な犯罪に発展するきっかけとなる危険があります。

日々、生活上のルールを守り、犯罪をしない、巻き込まれないよう相手を思いやり、一人一人が慎重な行動を心掛けましょう。



犯罪をさせない

あいさつが大切

犯罪者は、ごみが散らかっている、落書きなど生活のルールが守られていない地域は、住民同士の連携が薄く、犯罪に狙いやすい地域と考えています。

個人の力だけでは
全ての犯罪を防げません

- 第一歩としてご近所さん同士であいさつを交わすことが「地域の目」となり、監視効果や不審者の早期発見にもつながる
- 地域ぐるみで、青色回転灯車(通称青パト)による防犯パトロールや環境美化活動など「見せる取り組み」をする



自転車は自転車駐車場へ預けましょう

問 暮らしの安全課 (内線2827)



一人一人の駐輪マナーで安全できれいなまちづくりを

放置自転車は、歩行者や目の不自由な人、車いすの通行の妨げとなり、緊急車両の通行や活動も阻害し、まちの景観も損ねます。自転車は自転車駐車場へ預けましょう。

自転車駐車場一覧は、市庁舎で▶



自転車放置禁止区域に置かれた自転車は随時、撤去します

撤去の際、必要に応じてチェーン錠などは切断します。また、撤去した自転車の引き取りには、撤去手数料3千円がかかります。

切断したチェーン錠や、自転車の撤去・移動・保管中の破損、盗難被害などに対して市は、一切責任を負いません。



「保険が使える」という住宅修理トラブルに注意

問 暮らしの安全課 (内線2829)



令和4年6月のひょう被害以降、「保険が使える」と自宅を訪ねてくることを発端とする住宅修理トラブルの相談が増えています。

トラブル事例

- ▶ 慌てて契約してしまい、キャンセルしたときの違約金や保険申請サポート費用などの名目で、高額な請求を受けた
- ▶ 事業者と言われて、「経年劣化」を「自然災害による破損」とうそをついて保険金を請求してしまった
- ▶ 突然訪問してきた事業者が点検箇所をわざと壊して撮影し勧誘するなどのケースも発生

被害に遭わないために

- ▶ 保険の申請は事業者には頼らず、加入者自身で行う
- ▶ 住宅リフォーム工事を行うときは、相見積もりを行い、比較検討してから、事業者へ依頼する

相談先

- ▶ 消費者ホットライン「TEL 188」
- ▶ 春日部市消費生活センター(内線2830)(暮らしの安全課内)